



新年度を迎えて

校長 柿原 章男

小学部44名、中学部33名、高等部65名、児童生徒総勢142名に加え、教職員136名により唐津特別支援学校の令和7年度がスタートいたしました。校長として本校に着任して2年目となりました、柿原です。本校は平成13年度の開校から、今年度で四半世紀を迎えます。

これまでも保護者の皆様をはじめ、関係の皆様には、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りましたこと、心より厚くお礼申し上げます。また、今後とも引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本校は児童生徒一人一人に応じた教育・支援を提供することを柱として、児童生徒が安心して学び、成長できる環境づくりに取り組んでいます。また、昨今、特別支援教育に関する関心が高まる中、私たち唐津特別支援学校も更なる充実を目指し、児童生徒一人一人が持つ可能性を最大限に引き出すことができるよう、様々な工夫や取組を進めているところです。本校の教育目標等については、以下のとおりです。

1 学校教育目標

児童生徒一人一人に応じた教育活動を通して、子どもたちの持つ可能性をできる限り広げ、校訓にうたっている「明るく元気に生きる力」「心豊かに生活する力」「たくましく自立し社会に参加する力」をはぐくむとともに、他人を思いやることのできる児童生徒を育成する。

2 目標達成のための学校経営ビジョン

- ・ 子どもが今日の学校生活に満足し、明日の学校生活を期待することができる学校をつくる。
- ・ 子どもが今日の学校生活を「自分から」「自分で」取り組み、「やりがい」「手ごたえ」を感じ、「精一杯」「存分に」活動し、「充実感」「満足感」に浸ることができる学校をつくる。

好学会分校より

教頭 松元 公司

開校から8年目を迎えた好学会分校。現在、小学部8名、中学部14名の計22名が学んでいます。

好学会分校には、隣接する児童心理治療施設「好学会」入所の児童生徒が通学します。教育、福祉、医療が一体となって子どもたちを支援します。

学校では、通常の小・中学校の学習内容に取り組みます。中学部3年生においては、高校進学に向け日々の学習にも身が入る時期となりました。これまで学校生活や家庭生活で困難さを感じていた生徒も時間の経過とともに、確かな成長の歩みを見て取れます。そんな児童生徒に、好学会分校職員は元気と力をもらっている今日この頃です。

「心をひとつに 勝利のバトンをつなげ」

企画・広報部長 中村 郁恵

企画・広報部では、学校行事(体育祭・まつら祭)の立案と運営、児童生徒会活動、理解啓発・広報活動を担当しています。

5月17日(土)に第25回体育祭を実施しました。当日は雨天で体育館開催でしたが、各学部で勝利を目指して応援し合い、雨雲を吹き飛ばす元気で取り組みました。

2学期以降も学校行事や児童生徒会活動を通して、校訓「明るく元気に 心豊かにたくましく」を目指していききたいと思います。



9月～3月の主な行事予定

9月 1日	始業式	12月 22日	寄宿舎ふゆまつり
9月 3日	高等部修学旅行大阪方面(～9/5)	12月 24日	終業式
9月 10日	中学部修学旅行大分方面(～9/12)	1月 8日	始業式
10月 18日	第25回まつら祭	1月 23日	児童生徒会会長立会演説会・投票
10月 28日	中学部就業・施設体験(～11/14)	2月 13日	からとく夢いちば
11月 4日	高等部就業・施設体験(～11/28)	3月 12日	卒業式
		3月 24日	修了式



小学部

「 フレーフレー！たいいくさい 」

今年の種目は「親子で大玉転がし」「からとくデリバリー！」でした。「親子で大玉転がし」は、今年初めて取り組んだ競技です。自分より大きな大玉を転がす子どもたちは、わくわく・ドキドキの表情でした。体育祭当日は、保護者の方と一緒に息を合わせながら、大玉を転がしました。たくさんのご声援ありがとうございました！



中学部

「バトンをつなげ からリンピック」

体育祭単元では、競技で使用するパネルやバトン、くす玉などを自分たちで制作したり、種目練習に取り組んだりしました。徐々にチームでの一体感が高まり、友だちを応援する声や拍手が多くありました。当日は体育館で行いましたが、これまでの練習の成果を思う存分発揮して、皆さんの声援に答えていました。



「学校間交流」

5/30, 6/6, 6/13、鬼塚中学校の1年生3クラスの皆さんと直接交流を行いました。当日は会場に飾りを行い、歓迎の気持ちを伝えることができました。ポッチャの対戦をしたり、ダンスを披露しあったりして、お互いのことを知って交流を深めました。



高等部

「心をひとつに勝利のバトンをつなげ」体育祭 上記のスローガンのもと、2週にわたって練習に励みました。毎日が本番さながらの対戦、演技の繰り返しで心が一つにまとまり、当日はあいにくの雨天時計画での取り組みでしたが、日ごろの成果を十分に発揮し、体育館内は熱気でムンムンでした。

「からとく夢いちば」

1学期の作業学習の成果を発表する場として「からとく夢いちば」(販売会)を6月18日(水)本校体育館において開催しました。当日は気温が上がりましたが、暑さにもかかわらず多くのお客さんがみえ、接客を行う生徒たちも汗だくで張り切っていました。この日のために一か月ほど頑張って作り上げた製品は、とぶように売れ、生徒一人一人、満足げな表情を浮かべていました。

「佐賀を誇りに思う事業」講演会

6月30日に「唐津神社と唐津くんち」というテーマで唐津神社の宮司の方に神社の成り立ち、神社とくんちのつながりなど絵を多く使用した資料をもとにわかりやすく話していただきました。

「クローバーカフェ」

Ⅲ課程では、手作りのスムージーやマフィンを招待した友達や職員、保護者の方にふるまいました。また、来てくれたお客さんにクイズを出して楽しませました。

寄宿舍

卒業生が働いている事業所に来てもらおう
(男女合同棟活動)

6月3日(火)に卒業生が働いている3つの事業所に来てもらい、販売しているものを食べながら卒業生との交流をもつ企画を実施しました。

来ていただいた事業所さんは「あおば」「石窯パン工房 LULU」「ONE(わん)」で、それぞれに昨年度卒業した先輩が勤めており、食べるばかりでなく、卒業生の近況報告を聞く機会にして良い時間を過ごすことを狙ったものです。

卒業生の話のあと、舎生の方から質問も出たりしてやりとりの時間がもて、販売の品を食べる子どもたちは各々美味しそうにほおぼっていました。



支援部

支援部では、主な業務として、教育相談、放課後等デイサービス事業所との連絡窓口、地域の学校等への巡回相談などを行っています。

スクールカウンセラーを利用したい児童・生徒・保護者、教育相談を受けたい方、特別支援教育について話を聞きたい方等、支援部にご相談ください。

まずはお電話ください。
唐津特別支援学校
TEL 0955-78-2394
特別支援教育コーディネーター

